

日本タボス

令和8年(2026年)1月10日



地蔵峠の烏帽子岳登山口から一本道の凡そ3km先に頂上。其処にはスッと押せば下界へ運べそうな烏帽子岩礫が待っていました。



写真提供は一之瀬和夫理事

2016年8月14日小諸駅より湯の丸高原バス

NO.

38

今季、阪神タイガースで本原出身の高寺望夢選手（背番号 67）が活躍。
ふるさとを挙げて応援しましょう。



阪神タイガース高寺望夢選手（背番号 67） <https://sp.baseball.findfriends.jp/player/20020085/>

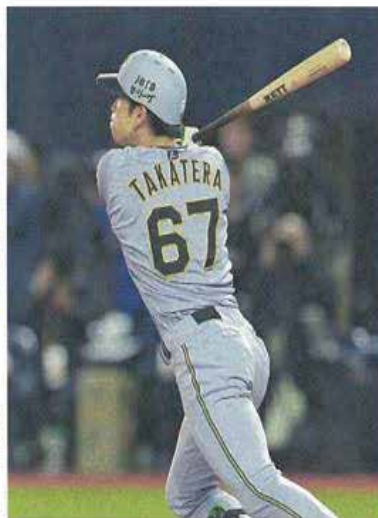
上田市立本原小学校（上田リトル）・真田中学（上田シニア）・上田西高等学校を卒業し、2020年NPBドラフト会議にて阪神タイガースから指名を受けて入団した高寺望夢氏（背番号 67）は、入団5年目の今季、目覚ましい成績を残しました。今季の試合数は67、打率は0.231、本塁打2本。阪神タイガースは今季、セリーグ優勝、日本シリーズに出場してソフトバンクと対戦し惜しくも敗れたものの、同氏の打率は0.273と高打率を示し大活躍されました。来季は、今季以上の活躍が期待されます。私共、東京真田町の会も同氏の活躍を願って、大いに応援してまいりたいと思います。真田地区の皆様方、応援をよろしくお願ひします。同氏の入団記事を日本ダボス第34号（令3〔2021年12月21日発行〕p.28に既掲載。 会長深町共榮

第24号

上田西高等学校同窓会報

令和7年7月1日(6)

ムランを打つ活躍をした。「二軍にいなければわからないこともたくさんあり、全てがよい



© 阪神タイガース

プロ野球 阪神タイガース
令和2年度卒 高寺 望夢

プロ野球の舞台で活躍する同窓生を紹介いたします。皆さん、応援よろしくお願ひいたします。

活躍する同窓生

経験になっていく。その経験を活かしてもっと活躍できるように頑張ります」と抱負を語った。

高校在学中、新型コロナウイルスの影響で夏の甲子園大会は中止となったが、プロ志望高校生合同練習会で結果を残し、ドラフト7位で阪神へ入団した。今季一軍での出場機会もあり、5月13日対横浜戦では、プロ初となるホームランを打つ活躍をした。

東京真田町の会のホームページを探すとき、キーワードの文字には **東京真田町の会** を使って検索して下さい。検索にかからない場合は <http://fukamachi1129.ec-net.jp/sanadamachi/> をご使用下さい。



も く じ

番号	表 題	頁
一	表紙(烏帽子岳)	編集部 一
二	郷土出身阪神タイガース高寺望夢選手を応援しましょう	編集部 二
三	もくじ	編集部 三
四	ご挨拶	編集部 四
五	誰もが幸せを感じる上田市を目指して	編集部 四
六	次代に誇れる郷土の発展を目指して	編集部 四
七	100年先も活力ある地域であるために	編集部 五
八	水道事業広域化が課題です	編集部 五
九	上田市発足二十周年	編集部 六
一〇	全国で一番暑くて寒い上田市	編集部 七
一一	国消国産運動の促進に向けて	編集部 八
一二	真田の田園風景を守りたい	編集部 八
一三	ふるさとを築く商工会	編集部 九
一四	ふるさと会は集うことが大事!	編集部 一〇
一五	200才を迎えて	編集部 一一
一六	横尾の思い出	編集部 一二
一七	洋書の出版について	編集部 一三
一八	第三十八回定期総会および懇親会の報告	編集部 一四
一九	会員皆様の近況	編集部 一五
二〇	令和6年度会務報告書・同決算報告書・会計監査報告書	編集部 一六
二一	令和7年度事業計画・同予算案・役員名簿	編集部 一七
二二	移住相談 長野返り咲き、総務省まとめ 2年ぶり首位	編集部 一八
二三	スイス連邦ダボス姉妹都市提携50周年記念	編集部 一九
二四	スイス特別企画給食	編集部 二〇
二五	お知らせ	編集部 二一
二六	会員消息・第三十九回定期総会の予告・編集後記	編集部 二二
二七	第三十八回総会・懇親会のもよう(写真)	編集部 二三
二八		編集部 二四
二九		編集部 二五

挨拶

会長 深町共榮

(田中出身・旧姓山岸)



異常に暑い日が連日続いた長い夏、会員の皆様は如何お過ごしでしたか？地球温暖化によるものと言われていますが、この異常気象、人類の知恵と力を合わせ、おさめてほしいものです。

夏の参議院選挙にて、昨年の衆議院選挙同様、今回も与党が大敗し、衆参両院にて、与党が過半数を下回ってしまいました。選挙の責任を取らせられる形で石破内閣は退陣し、女性として、初めて、若さと行動力をアピールした高市早苗氏が総理大臣に就任されました。その政策の良し悪し別にし、分かりやすい言葉ではつらつと述べる姿に新鮮さを感じます。この財政難の中、積極的な財政運営が成功するか甚だ疑問ですが、まずは新

総理の活躍ぶりに期待したいものです。

今年の我が「東京真田町の会」第38回総会には、市長様を始め市議会及び自治センター、JAの関係者等のご来賓16名をお迎えし、総勢38名にて無事開催することができました。ご出席頂きました皆様には感謝申し上げます。また、昨年ご講演頂いた静岡大学客員教授の堀内道夫先生には、今回もご講演をお願いし、「認知症について―血流の大切さ―」についてのお話をお聞きすることができました。私の健康維持と長生きの秘訣に大いに役立つ内容でした。

今年、上田市誕生20周年を記念し、第41回真田まつり・真田三代花火大会が8月2日(土)、真



第41回真田まつり風景

田運動公園グラウンドにて賑やかに開催されました。

また、10月12日(日)には上田市役所広場にて「第45回上田真田まつり」があり、24日(金)には、東京上田会主催の「信州うえた東京の集い」がNHホテル東京にて開催されました。いずれの催しにも、真田町の会を代表し、私が出席してまいりました。コロナが5類になつて3年を経過し、まつり等も一段と活気を帯びて参りました。

さて真田町出身で、現在阪神タイガースにおいて、レギュラー出場した高寺望夢選手ですが、今季は、打率が0.217、本塁打2本と大活躍でした。出身の上田西高校はHRにて応援を始めると聞いていますし、私も会も応援体制をとりたいたいものと思います。

さて当会の現状ですが、当号の「会員皆様の近況」の欄にありまますように、12名の方が退会となり、現在の会員は、60名を下回りました。また、会計係を8年間務めて頂いた坂口典和氏が健康上の理由で退任されました。大変お世話になり、ありがとうございます。役員補充が難しいため、現在会長が事務局と会計係を兼ねております。残念な事ですが、今季は新入会員がおりません。会員減少は会の運営を一段と難しくしております。会員の皆様には、どうか会員増の

ためにお知り合いにお声がけをよろしく願います。

この度、小林孝雄初代会長様より、百寿を迎えた玉稿をお寄せ頂きました。「百寿」誠におめでとうございます。

最後になりましたが、会員皆様のご多幸を祈念致し、挨拶とさせていただきます。

誰もが幸せを感じる

上田市を目指して

上田市長 土屋陽一



東京真田町の会の皆様には、御健勝で御活躍のこととお喜び申し上げます。

はじめに、令和七年度は、上田市誕生から二十周年という節目を迎えます。この間を振り返りますと、新市の一体感を醸成しつつ、地域の発展に向けて着実に歩みを進めてきたものと考えております。これも、本市の礎を築いていただいた

先人の皆様はもとより、様々な取組に対し御尽力いただいているすべての皆様のおかげと深く感謝申し上げます。

また、今年は戦後八十年、そして上田市が非核平和都市を宣言してから十五周年の節目の年です。かねてより準備を進めてまいりました、市内全中学校から募集した生徒を中心とする三十余名の訪問団による広島での平和学習を、去る七月三十日、三十一日に実施しました。更に、八月八日には、広島・長崎から分けていただいた火を灯した「平和の灯モニュメント」の完成除幕式を開催しました。

次に、令和十年に開催される、第八十二回国民スポーツ大会「信州やまなみ国スポ」について御紹介いたします。市内においては、ソフトテニス、ラグビーフットボール、ハンドボール、軟式野球の四競技が実施される予定であり、ラグビーフットボールについては、アンダーアーマー菅平サニアパークにて競技を行います。長野県開催となった昭和五十三年の「やまびこ国体」から五十年、平成十年の「オリンピックピック冬季競技大会」から三十年となる節目の年に、国内最大のスポーツの祭典を開催できることを大変嬉しく思っております。また、令和九年の競技別リハーサル大会、令和十年の本大会は、全国

から訪れる多くの方々に対し、豊かな自然や歴史・文化・食など、当市の魅力を発信する機会となることから、大会成功に向けて、市民、関係機関、行政の協働により準備を進めてまいります。

観光振興・シテイプロモーションとしては、長野市と連携し、八月二十日から約一週間にわたり、東京都世田谷区の東急田園都市線二子玉川駅前の商業施設において両市の農産物を活用したコラボレーションメニューを展開いたしました。その結果、多くの方に実際に味わっていただくことにより、農産物のブランド価値向上を図ることができたと考えております。

今後も「市民力」と「共感力」を大切に、皆様との協働により、力強く市政を推進し、誰もが幸せを感じる上田市を目指してまいります。東京真田町の会の皆様におかれましても、ふるさと上田市を温かく見守っていただき、引き続き変わらぬ御支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、東京真田町の会のみならずの御発展と深町会長をはじめ、会員の皆様の御多幸を心から祈念し、会報「日本ダボス」に寄せるあいさつといたします。

【原稿】依頼 2025年9月17日、入稿同年10月31日

次代に誇れる郷土の発展を目指して

上田市議会議員 池田 総一郎



東京真田町の会の皆様におかれましては、日頃からひとかたならぬご厚情を賜り、心より御礼申し上げます。また、5月に開催された東京真田町の会総会におきましては、私ども上田市議会の議員をお招きいただきご歓待いただきましたことに改めて御礼申し上げます。

郷土に対する皆様方の強い思いをお伺いし、心強さを感じるとともに、その責任の重さに身が引き締まる思いです。皆様方の期待に応えるべく、郷土の発展に向けて、議長として全力を傾けて取り組んでまいります。

さて、スポーツブランド「アンダーアーマー」の日本総代理店、株式会社ドームとネーミングライツ契約を締結した「アンダーアーマー菅平サニアパーク」を擁する菅平

高原では、今年の夏も大学ラグビー強豪校の夏合宿で盛り上がりました。連日練習試合が組まれる中、8月17日には全国大学選手権4連覇中の帝京大学が早稲田大学と対決し、県内外から大勢のファンが駆け付け、大いに賑わったと聞きしております。

また、令和10年に長野県で開催される「国民スポーツ大会」において、上田市では4つの競技の開催が内定しており、このうちラグビーフットボールについては、「アンダーアーマー菅平サニアパーク」が会場となる予定です。

こうした動きが、「スポーツ都市宣言」を制定し、スポーツを通じて健康で活気あるまちづくりを目指している上田市にとって大きな追い風となるとともに、真田地域のさらなる活性化につながることを期待しております。

来年3月、平成18年3月に市町村合併により新生上田市が誕生してから二十周年の節目を迎えます。この間、地域間の交流や連携を通じて、お互いの地域の魅力を資源として結び付け、地域の発展に取り組んでまいりました。

また、来年度からは、上田市の新しいまちづくりの指針である「第三次総合計画」が始まります。少子化・人口減少という厳しい社会情勢にありますが、我々市議会とし

でも、次世代のために、市民生活の向上と郷土の発展に向けて誠心誠意取り組んでまいりますので、皆様方には、一層の御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、市民の皆様にご期待される上田市議会として更なる研鑽に努めてまいりますので、東京真田町の会の皆様の変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げますとともに、東京真田町の会の益々の発展と会員の皆様のご多幸をお祈りいたします。

【原稿】依頼2025年9月17日、入稿同年10月28日

100年先も活力ある

地域であるために

真田地域自治センター長

北沢 秀一



東京真田町の会の皆様には、お健やかに過ごすごしのこととお喜び

申し上げます。

また、30年以上の長きにわたり、会の運営、発展のため御尽力賜りました役員の皆様並びに会員の皆様に、改めまして敬意を表するとともに、深く感謝申し上げます。

さて、私は真田地域自治センター長を拝命して2年目を迎えました。地域の将来を見据え、地域の皆様とともに様々な取組を進めております。

本年は、上田市誕生20周年という節目の年であり、真田地域においても「20周年」を冠したイベントを多数開催し、地域の盛り上げを図っております。

振り返れば2005年度(平成17年度)の合併以降、真田地域においても様々な世界的出来事の影響を受けながら歩んでまいりました。

2008年のリーマンショックでは地域経済も大きな打撃を受けましたが、その後のNHK大河ドラマ「真田丸」の放映を契機に、多くの観光客が真田地域を訪れ、上田市真田町の名前は一躍全国区となりました。さらに、令和元年東日本台風の大きな被害や、新型コロナウイルスの世界的感染拡大により、いまだかつて経験したことのないような困難もありました。しかしその中でも、菅平高原のスポーツ施設のネーミングライツ契約を株式会社ドーム様と締結し、世界的スポー

ツブランドである『アンダーアーマー』の名前を冠した菅平施設の運営がスタートしました。また、コロナ禍以降縮小する地域のコミュニケーションを、デジタルで支えるコミュニケーションアプリ「キクもん」を開発し、運用開始から1年で200件以上の登録を超えるなど、地域デジタル化の面でも成果を上げてきています。

これらの取組は真田地域において独自に工夫し、地域の皆さんと力をあわせて実現してきた成果であり、『持続可能な真田地域』を目指すうえで大きな一歩だと感じております。

これまでも人々は幾多の困難を乗り越えてきましたが、今、地方が直面している人口減少の波は、静かに、しかし確実に地域を蝕んでいます。これらにより発生する影響に対して、地域行政だけでなく地域住民の皆さんともいち早くその危機感を共有し、先手を打っていく事が何より重要です。戦略を持ち、地域住民の皆さんと心を一つにしながら未来を思い描き挑戦していくことこそ、100年先に続く活力ある地域になると考えています。

そして、これらの挑戦を通じて地域の皆様が「真田に住んでいて良かった」と感じ、人の繋がりがややかさを実感できる前向きな地域づく

くりが進むことを願っております。会員の皆様には今後ともふるさとのまちづくりにお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、東京真田町の会の益々の御発展と会員皆様の御健勝を祈念申し上げます、あいさつとさせていただきます。

【原稿】依頼2025年9月17日、入稿同年11月18日

水道事業広域化が課題です

上田市議会議員 古市 順子



今年も5月に行われた東京真田町の会総会・懇親会の折は、大変お世話になり、楽しい時間を過ごさせていただきました。

ご近所や知り合いの親戚の方とお話することもでき、帰郷後「お元気でしたよ・・・」と報告もしました。

今年の夏は猛暑が続きましたが、お元気でお過ごしだったでしょうか。10月には真田の郷もすっかり

秋らしくなり、朝晩は暖房も必要となる日もあります。

さて、新上田市が発足して来年3月には20年となります。

「新生上田市20周年」と銘打った行事が、様々取り組まれていきます。私は2006年3月に行われた、いわゆる合併選挙で初当選し、5期目を務めております。来年3月29日は市長・市議会議員選挙が予定されています。

現在の上田市政の課題はたくさんあるのですが、上田・長野間の「水道事業広域化」も大きな課題で、この選挙の争点の一つとなります。私が属する会派では、行政視察、研修会、市民説明会、上下水道審議会傍聴、市民の皆さんとの意見交換会など、調査研究を進めてきました。また、私は定例議会での一般質問を6回行いました。

真田の皆さんは、四阿山麓から湧き出る沢の水が貴重な水源であり、地元集落の皆さんによって「地域の宝」として大切に守られてきたことをご存知の方も多いと思います。この水源は水量が安定し、濁度や色度が極めて低いのが特徴です。1958年に真田町が発足、1967年には水不足が深刻化した菅平へ一日3千mの送水を、町と地元で合意しています。その後も町は水の利用を求めましたが、交渉は難航し「つちやの沢」「滝之入沢川」を市

の水道水源とすることで、市と地元住民が合意したのは、2014年11月です。

現在課題となっている水道事業広域化は、こういった貴重な水源の資産管理権は、新たに求められる「水道事業企業団」に移譲されま

す。上田から長野という生活圏も異なる大きな枠組みでの広域化は、「いのちの水」である身近な水道事業が市民から遠い存在となり、「水の自治」が大きく後退します。

9月議会には、事業計画策定費用が計上されましたので、上記の他に下記の理由で、反対討論を行いました。

- ① 上下水道審議会がまとまらなかったことは大きい。
 - ② 上田市にとって、本当に必要か疑問。
 - ③ 災害時に不安がある。
 - ④ 住民サービスの低下、下水道分離による効率低下。
 - ⑤ 負債が極端に多い事業体との統合はリスクが大きい。
 - ⑥ メリットがほとんど明らかでない。
- 今後もご意見等お寄せ下さい。向寒の折、どなた様もご自愛ください。(10月16日)
- 【原稿】依頼2025年9月17日、入稿同年10月27日

上田市発足二十周年

上田市議会議員 佐藤論征



東京真田町の会の皆様におかれましては、益々ご健、ご活躍のこととお喜び申し上げます。

また、日頃より故郷にお寄せいただいておりますご支援とご協力に心より感謝申し上げますとともに、5月の総会・懇親会にお招きをいただき、大変お世話になりました。心より御礼申し上げます。

さて、平成十八年に四市町村が合併し新生上田市が発足して、早いもので二十年の節目を迎えようとしております。この二十年で真田地域では、合併当時約11,500人程あった人口も、直近では9,400人程まで減少し、今後更なる人口減少が見込まれております。このようななか、それぞれの自治会においては役員の成り手不足が大きな課題となっており、実際に行事等も縮小や廃止などに追い込まれている状況にあり、真田地

域全体で実施していた一部行事も廃止されている状況にございます。また、少子化も著しく真田中学校では、令和七年度新入生を72名、全校生徒198名、各学年2クラスの状況であります。小学校においても児童数が減少傾向にあり、学校の存続も危惧され、地域協議会の皆様にも大変ご心配いただいております。地域協議会においても真剣に議論をいただいている最中でございます。小中学校の在り方については、真田地域にとって今後の大きな課題であります。人口減少が真田地域に様々な影響を及ぼしている状況ではありますが、抜本的な対策は非常に難しい状況であります。真田地域の大きな財産であります菅平高原や真田氏発祥の地としての知名度を活かし、観光などにより真田地域を訪れてくださる「交流人口」あるいは、地域外の人材が、地域づくりの担い手となる「関係人口」を増やしていくことが真田地域にとりまして課題解決の大きな糸口であり、重要となっております。特に「関係人口」を増やすことは、より重要であり、関係人口を増やす意味でも東京真田町の会の皆様をはじめ、長野県外、上田市外にお住まいの真田地域ご出身の皆様が、故郷に想いをお寄せ頂き、真田地域と関わっていただきますことは今後更に重要とな

つてまいります。東京真田町の会の皆様におかれましては、これまで以上に故郷真田町と関わって頂きますとともに、これまでと変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、東京真田町の会の益々のご発展と会員の皆様の益々の健勝をお祈り申し上げ、第三十八号「日本ダボス」発行にあたりご挨拶とさせていただきます。

「原稿」依頼 2025年9月17日、入稿同年10月26日

全国で一番暑くて 寒い上田市

上田市議会議員 齊藤加代美
(旧姓 倉島・本原出身)



この度も東京真田町の会にお招きいただき、楽しい会話と皆様とお会いでき、参加できたこと嬉しく思います。深町会長はじめ関係者の皆様に感謝申し上げます。今年の夏の上田は、猛暑日過去

最多38日で、8月3日は39.0度と県内で最も暑く、全国でも一番寒くて暑い都市であるようになってしまいましたね。市内では、夏休みのプールも猛暑でできない状況であり、特に神科の第五中学のプール建設の見通しにおいては、今年度試験的にふれあい真田館のプールを活用しながら、建設の可否を年度内に決定していきます。これだけ危険な暑さとなると、今後の夏のプール授業も厳しく、今年度は長小、真田中ともにふれあい真田館フルでプール授業を行いました。

本当に、いったい地球はどうなってしまうのか不安です。そして、このところ急に気温が下がり、朝晩一けた台の気温で、防寒着が必要なほどで、今年の紅葉は期待できそうですよ。

さて、お盆の午後に菅平高原出かけてみると、上田方面に降りる県外ナンバーの車が鈴なりであり、4キロほどの渋滞に遭遇し、改めて菅平高原の集客率の高さに驚かされました。その日は、帝京vs早稲田の大学ラグビー試合が終わった時間だったと後でお聞きし、まさしくラグビーの聖地であり、Stadiumに向けてラグビーの日本代表候補が合宿も6月に例年行われていきます(注1)。

そして、菅平の集客のお陰もあり繁忙期は上田市内のホテルは満

室で、現地でランチ難民がでるほどの賑わいです。令和6年度の来訪者と観光消費額(県発表)は、106万人で約47億4千万円前年比3%アップであり、コロナ過前までの水準にあと一息となりました。そして、即座に、観光客からの収益活動(駐車場有料化など)へ発想しましたが、菅平高原においては、国定公園第2種特別規制地域に指定され、経済活動も国への許可が必要に非常に制約された地域でもあり、クリアしなければならぬことが山積みであることが分かり、今後に期待します。

さて、私事ですが嬉しいことがあります。10月に真田中学校の同窓会を久々に開催することができました。これも友人が皆の住所を抑えてくれてあり、本来は55歳5月5日に開催する予定でしたが、コロナで延期となり、今回は、なんと1組担任の小池先生は傘寿、3組の担任飯塚先生は卒寿、私たちが還暦の42人も集まり見事な三並びのお祝い会となりました。

とても懐かしい想いでの花を咲かせ、それぞれによい年を重ねていて、とても深い人生を送ったのだと感じながら、同郷の間は本当にかげがえのない財産だと思えました。そして、その当時の真田中学校は126名の生徒数であったのが、令和6年度62人で約半分とな

《広告欄》

(有)上原重機

クレーン作業は懇切丁寧で定評のある上原重機
へご相談下さい

Rough terrain crane/TADANO
25t/10t/7t/5t
吊上げ：鉄骨・鉄筋・住宅・
庭園(庭石・植木)・その他一般

〒389-0505 長野県東御市和 1086-1
TEL 0268-36-2369 FAX 0268-35-0502
上原重二・恵子 (大日向出身田姓一之瀬)



東京真田町の会

理事 坂口 英一
(真田出身)

〒113-0034 東京都文京区湯島 3-6-1
全国家電協会 2F
有限会社 エーストレーディング
☎ 03-5812-4712

つている事に、少子化の現実には驚きを隠せません。



真田中学同期卒業生の会、前列に二2名の恩師を囲む42名(2025年10月)

また、全国的な中学部活の地域移行では、市は令和9年度からスタートし、真田地域のNP0さなだスポーツクラブは地域の指導者皆様との関わりも深く、中学の近くに公共施設も集中している絶好の環境であることから、比較的順調に進んでいると聞いています。小回りの利く地域で、子ども達を大切に想うよき真田地域ですね。
最後に、皆様におかれましては、健康にはご留意され、健やかな毎日である事をお祈りしています。また来年お会いできることを楽しみにしています。
(注)信濃毎日新聞2025年6月18日(水)及び8月20日(水)、地域11面東信版
【原稿】依頼2025年9月17日、入稿11月1日

国消国産運動の促進に向けて

信州うえだ農業協同組合

代表理事組合長 眞島 実



東京真田町の会の皆様方におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃は、当JAの事業運営・地域貢献活動にご理解を賜るとともに、信州うえだの農畜産物をご愛顧いただき心より御礼申し上げます。

さて、本年度の農業情勢につきましましては、昨年に引き続き円安をはじめ、海外情勢の不安定化により生産資材価格等が高騰し、農家経営は非常に厳しい状況にあります。そのような中、改正食料・農業・農村基本法や新たな食料・農業・農村基本計画に基づき、5年間の農業構造転換集中対策期間を迎えるなど、我が国農政は、まさに歴史的

な転換点を迎えています。特に生産可能な農畜産物価格の実現に向けては、消費者の皆様の理解が必要でありますので、国消国産・地産地消の促進に向け、東京真田町の会の皆様方にもご理解・ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

農作物の状況では、7月に菅平高原で降雹が発生し、収穫直前のレタスなどに大きな被害が発生しました。また、近年は、気候変動による温暖化で、農作物への被害も発生しております。当JAとしましては、災害に強い農業の確立に向け、国・県・市町村への協力要請も行いながら、持続可能な農業振興に取り組んでいます。

例年実施しております菅平高原レタスのPRにつきましては、6月4日・5日の2日間、土屋陽一上田市長とともに東京都中央卸売市場淀橋市場へ出向き実施してまいりました。4日には東京新宿ベジフル株式会社との懇談会を開催し、翌日早朝、市場内専用ブースに菅平高原産のレタスを並べ、PRを実施しました。地元真田町の生産者が丹精込めて生産した農産物の魅力を首都圏へ発信し、消費拡大によるブランド化をすすめることで、地域農業の発展と農家所得の増大に繋がるよう取り組んでおります。さらに、JAフェスティバルは、全

《広告欄》



(株)エーティーエーは、航空宇宙業界をはじめ医療機器などのあらゆる産業界発展に貢献しております。

事業内容 自動(組立・検査)機器、電子機器、計測器、ソフトウェアの開発及び受託生産

代表取締役社長 山岸 栄 (傍陽出身)

〒350-1203 埼玉県日高市大字旭ヶ丘字竹の台630-2

電話 042-984-3666 FAX042-984-3655

<https://www.at-accent.co.jp>

東京真田町の会

会長 深町 共榮

(田中出身)

〒366-0052 埼玉県深谷市上柴町西 5-7-82

〒386-2203 長野県上田市真田町傍陽 825-7

☎ 090-7225-6491

7地区で開催しました。真田地区は、10月12日に菅平会場、10月18日に新鮮市真田直売所一帯を会場とし、りんごの直売をはじめ、菅平産の白菜、ごぼうなど地元産の新鮮な旬の野菜を販売し、地域の大勢の皆様にお出掛けいただき盛大に開催することができました。今後も地域に根差したJAとして、組合員をはじめ地域の皆様が安心して暮らせる豊かな地域社会を築くため、皆様に親しまれるJAとなるよう役員一丸となつてJA事業に取り組んでまいりますので、変わらぬご支援・ご協力を賜れば幸いに存じます。

結びに貴会の更なるご発展と会員各位のご健勝、ご多幸をご祈念申し上げ、本会誌「日本ダボス」に寄せるご挨拶とさせていただきます。

〔原稿〕依頼 2025年9月17日、入稿同年10月26日

真田の田園風景を

守りたい

JA信州うえだ農協理事

宮崎早苗

今年の水稲の収穫時期も終盤を迎え、山々の木々が色づく頃、この原稿に取り掛かっています。昨年7月から地域の農業委員を



承り、遊休荒廃地対策のための圃場巡回や、上田市親子農業体験のお手伝いをしています。

さて、今年の我が家のコシヒカリは高温の気象条件に恵まれたことと、連日の米の高騰の報道により、追肥の手に増収への思いを込め過ぎた結果、一面見事に倒伏。追い打ちをかける雨と風。収穫適期が近づくにつれ、気分は下降の一途をたどり迎えた9月20日、息子が計画した収穫日には昨年を引き続き30代の若者5人が現れ、総勢7人で無事稲刈りを終えました。私は2歳の孫のお付き合いで戦力外となり、ただただ若者のパワーに感謝の一日になりました。

兼業農家の農地の維持は、収支を厳密に計算すれば割に合わないことばかり。でも米のおかげで息子の交友関係は盤石となり、我が家の親族との潤滑油にもなっています。

農作業がもしもなくなったら、天気予報に一喜一憂することもな



畑のフジバカマの蜜を吸う
アサギマダラ (10月)



熊のベンチと咲き誇るエンゼル
トランペット (9月)

く、心安らかに春や秋の観光シーズンを楽しめるのは？安らかなもいけれど、稲作の専業農家に生まれ育った私には明治生まれの祖父の「先祖様から引き継いだ土地を守り引き継ぐ」という、今では化石のような精神が叩き込まれていて、息子たちに口には出さずとも、何とかその気持ち伝わるよう農作業に励む毎日です。

《広告欄》



土木工事 解体工事 測量 造園 除雪

株式会社山崎商會

代表取締役社長 山崎 勇治

〒386-0002 長野県上田市住吉 1039-2

TEL 0268-24-6221 FAX 0268-27-7558

e-mail : yamazaki_shyoukai@yahoo.co.jp



山崎公認会計士事務所

Yamazaki CPA Office

公認会計士 / 税理士 山崎 友揮

(長野県上田市住吉長島 出身)

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 1-12-7 MSビル 6F

tel. 03-6272-6539 fax. 03-6272-6765

e-mail. yamazaki@yy-cpa.com

真田の田園風景をずっと見守りたい、そして地域の若者にも食料を生産する苦勞と喜びを感じてほしいと願っています。

ところで、我が家の菜園はその後どうなったかお知らせします。春先のクリスマスローズ、スイセン、チューリップ、夏から秋のエンゼルランペット、秋にはフジバカマにアサギマダラが舞い降りて、蜜を吸う姿が見られました。これからも、おおいに菜園生活を楽しまたいと思っています。(追伸…そうはいつても、夏の草取りは難儀ですね)

【原稿】依頼 2025年9月17日、入稿 10月27日

ふるさとこの明日を

築く商工会

真田町商工会 会長

丸山 進



このたびは日本ダボス第38号発行に寄稿させていただき誠にあり

がとうございます。

真田町商工会は「商工会の組織等に関する法律」の施行により昭和35年11月に設立発足いたしました。以来65年間、今日まで組織と事業の拡充強化に努め、現在会員230名余りを有しております。このことは行政をはじめ関係各位の深いご理解とご支援によるものであり、東京真田町の会の皆様にも感謝の意を表する次第です。

商工会は地域の小規模事業者を中心に組織されており、主に「小規模事業者の経営改善普及事業」や「地域の振興事業」を行っている経済団体であります。コロナ禍が過ぎたとはいえ、ロシアウクライナ情勢、米関税問題、物価高騰等により、事業者をとりまく環境は依然厳しく、廃業や後継者不足等で会員数は減少傾向にあります。そんな中で、昨年より、基幹産業である菅平高原の観光業はコロナ前の賑わいを取り戻しており、一安心しているところです。

また、恒例の各種イベントは新上田市誕生20周年の節目として、5月の「御屋敷公園つじ祭り」と8月の「真田まつり」を盛大に開催し、地域振興にも力を入れております。

一方で物価高騰、人手不足等事業者にとっては懸念される課題が多々ありますが、この状況を商工

会の必要性を感じてもらえる契機ととらえ、国市の行政機関や金融機関等関係機関と連携し、取り巻く課題解決を第一に支援体制を強化しているところです。

東京真田町の会の皆様におかれましては、引き続きご指導ご鞭撻を頂きながら本会の事業推進にご理解ご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

おわりになりますが貴会の益々の御発展と会員の皆様の御健勝と御多幸をお祈り申し上げます。さつとさせていただきます。

【原稿】依頼 2025年9月17日、入稿 同年9月24日

ふるさと会

集うことが大事!

東京上田会会長 倉沢 裕



去る5月、「東京真田町の会」総会ならびに懇親会にお招きいただき、誠にありがとうございました。昨年に続き、東京上田会を代表し

《広告欄》

山口法律事務所

弁護士 山口 元彦

〒184-0012 東京都小金井市中町2-19-6
TEL 042-407-2551 FAX 042-407-2551

誠実に、確実に、そして親切に

取扱い事件

不動産に関する問題 相続問題
金銭問題 交通事故
刑事事件・少年事件 その他

て出席させていただきましたが、多くの皆さまと歓談することができ、終始なごやかな雰囲気の中、心温まるひとときを過ごすことができました。

懇親会では、上田市からのご来賓より、姉妹都市であるスイス・ダボス町への親善訪問のご報告があり、大変印象に残っております。ダボスについては名前のみ存じ上げておりましたが、当日のビデオ映像を拝見しながらのご説明で、町の様子や風土を身近に感じることができました。世界経済フォーラムが開かれる著名な町ながら、人口が約1万人と何い意外に感じたほか、「SANDAY」という名のカンファレンス会場があると聞き、誇らしい気持ちになりました。

さて、東京上田会は本年度で設立30年を迎えます。首都圏に在住する上田地域出身者をはじめ、「上田を愛する」方々が集う開かれた組織であり、文化・経済・人的交流を通じて上田市の発展に寄与しつつ、会員相互の親睦を深めることを目的としております。現在、会員はおよそ600名です。

一方で、高齢化に伴う会員減少や財政面の課題も抱えております。これは多くのふるさと会に共通する問題かと思いますが、会報誌やホームページでの情報発信、そして会員の皆さまによるお声がけな

どを通じ、新たな会員をお迎えしていくことが大切だと感じております。

東京上田会の最大の行事は、秋に開催される「信州うえだ東京の集い」です。毎年、会員のほか、上田市から市長をはじめ約30名の来賓をお迎えし、総勢120名ほどで交流を深めております。本年度は10月24日に開催いたしました。これまで約20年にわたり浅草ビューホテルを会場としてまいりましたが、近年の会場費高騰を受け、今回は大手町のKKRホテル東京に会場を移し実施いたしました。運営面で多少の心配もございましたが、大きな混乱もなく、無事に開催でき安堵しております。

また今回は、西武池袋線江古田駅前にある上田市のアンテナショップ「UEDA Netina BASE」に「協力をいただき、出張販売を行っていただきました。久しぶりの出店ということもあり、多くの方が土産品を手にとられ、にぎわいを見せておりました。売上ベスト3は、「桑の実どら焼き」「みずど飴」「くみそば」とのことです。どれも上田を代表する名品であり、改めて地元の味の魅力を感じました。

最後に、菅平高原の秋を思い浮かべながら一句詠ませていただきます。

菅平

桔梗の花に

ラガーマン

「原稿」依頼 2025年9月17日、入稿同年11月3日

百才を迎えて

小林孝雄

(初代会長・曲尾出身)



昨年9月8日は、私の満99才の誕生日でした。それを記念し、長男の企画で、子供・孫達総勢23名が集まり、「白寿を祝う会」を開催してくれました。

その年の年賀状に、このことを書きましたところ、会長の深町さんからお便りがあり、今年の発行予定の「日本ダボス38号」に、何かご感想をお寄せ頂きたい、とのことでした。「日本ダボス38号」は、すなわち「東京真田町の会」が発足してから、38年を迎える、ということですので。この間「日本ダボス」

は毎年確実に発行されてきました。これは歴代の会長及び理事の皆様、そして会員の皆様の故郷を想う熱い心が為せる業であります。また、真田町、上田市の役場の皆様の温かいご支援の賜物であると、心から感謝申し上げます。

私が生まれたのは、20世紀の大正14年9月8日です。20世紀は二度の世界大戦があり、まさに戦乱の時代でした。そして、日本は初めて戦争に敗れ、帝国主義から民主主義国家へと大きな変貌を遂げました。

私が生まれたのは、深町さんと同じで真田町傍陽です。傍陽小学校では毎年5月27日の海軍記念日に、全校生徒が地藏峠に登り、一同で「信濃の国」を声高らかに合唱しました。格調高いこの歌は、少年の私の心に強い刺激を与えました。

小学校と上田高校時代は、戦争の時代であり、満州事変、志那事変、大東亜戦争と続き、実に暗黒の時代でした。

昭和21年(1946年)10月29日、新しい日本国憲法が可決され、同年11月3日に公布されました。新憲法の基本原理は、①人権の尊重、②民主主義、③平和主義で、社会は急速に明るくなりました。

戦後の私は、「郵政省」と「外務省」で国家公務員として働き、つい

で民間会社へ(NEC・日本電気(株))に移り、海外事業部に籍をおき、全世界を飛び回り、まさに多忙の日々を過ごしました。飛行機の旅は機中で眠れず、疲労がたまるものですが、私は戦争中海軍航空隊で飛行訓練したから、余り疲労を感じもなく、無事約50年間の会社員生活を終えました。

だが一つ反省すべきことがありました。その時代の終わり頃、会社の定期健康診断で、医者から、尿酸値が「9」に近く、このまま放っておく「君は死ぬぞ」と云われ、恐ろしい「痛風」なるぞということでした。

要するに野菜類を余り食べなかったことが原因と分かりました。以後食事に注意し、朝食は極力青野菜を食べるようにしました。そのため、尿酸値は徐々に下降し、現在は「5」程度で安定し、漸く安心ができるようになりました。

今年の9月8日に「100才」を迎えますが、私のモットーは、「海軍兵学校」時代に習得した規則正しい生活をする事、即ち就寝は必ず夜10時、起床は朝7時、起床して洗顔後は、「海軍体操」を数分間行うことです。

子供、孫達から、どうしたら長生きができるの、度々聞かれますが、必ずこの二つであること答えています。

真田町には菅平高原があり、夏は雄大な草原で新鮮な空気を吸い、冬は純白な雪景色の中でスキーを楽しんで体力を養う等、菅平高原で精神的、肉体的に鍛えられたことも、現在長生きしている基になっていると思います、感謝は尽きません。

【原稿】入稿 2025年9月11日

横尾の思い出

宮島光男 (横尾)



東京本所で生まれ育った家から、縁故疎開で長村横尾の伯母の嫁ぎ先にやってきたのは昭和18年、5歳の秋だった。太平洋戦争の戦局が日本の敗色濃厚となり、米軍機の日本本土への爆撃が現実になりつつあった。学童疎開が本格化するのには翌19年になってからだが、幼児の縁故疎開はそれに先んじて進められ、父が病死していた我が家では姉と兄の二人は東京に置き、末っ子の私だけを先に疎開させる

ことにしたらしい。もう80数年も昔のことで、まして幼いころのこと、記憶も途切れ途切れになるが、戦後80年ということでおぼろげな記憶をたどりながら思い出を記録してみることにしよう。

▼ 疎開を急いだ母

東京の生家は本所厩橋の春日通と三つ目通りの交差点に近いところであり、父なき後も小型の工作機械を中小の製造所などに販売する、錦糸町近辺に多かった「機械屋」だった。玄関先の土間にそうした小型機械が3つ4つ無造作に置かれていたのを覚えている。かなり年の離れた姉と兄は私を相手にしてくれず、一緒に遊んだ覚えがない。2階の兄の部屋で漫画の「のらくろ」や「タンクタンクロー」を見たり、少し難しい雑誌「譚海」を手にしたりして、兄にひどく怒られたことや、浅草の国際劇場(現在の浅草ビューホテル)で母に連れられてレビューを見たことなど、断片だけが浮かんでくる。昭和20年3月10日の東京大空襲で家は丸焼けになり、写真1枚も残っていないので、思い出す手がかりすらない。

戦争の進行は庶民から見ると、日本の勝利が続いているように見えたが、母にはどうしても末っ子の私を田舎に移しておきたい思いがあったようだ。それは昭和17年

4月、米軍機1機が本所の近くで撃墜された事件である。此の後、母はどうやらラジオや新聞の氣勢のいい報道に疑いを持ったらしく、戦後になって姉から「誰にも言えなかったけど、私たちが今生きていられるのはお母さんがいざの時に逃げ道を考えてくれていたからよ」と聞いたことがある。そんな訳で疎開が始まると早々に私の行く先が母の姉である伯母との間で決まったようだ。

はつきり覚えていないが、昭和18年秋、田舎で稲の取入れが終わった頃かと思う。母と一緒に上野から約7時間汽車に揺られ、上田丸子電鉄真田線で「北本原」駅に夕方に着いた。もっともその駅の名前を私が知っているわけではない。覚えてるのは駅のホームに裸電球がぼつんと一つついていたら、駅舎の灯りのほかは周りがいやに暗かったこと。単線の線路を渡り、暗く長い田舎道を母について川の方へ下っていく怖さだった。今やあの川(神川)の周辺は真田町の中心になり、真田温泉や自治センターなどが連なっているが、当時は川の両岸にはアカシアなどの木々が生い茂り。小さな木の橋を渡って暫くして横尾の集落の灯りが見えてくるまで、とても怖かった。その道すがら、母が「きちんと挨拶しなさい」「わがままを言うてはいけ

ないよ」と何度も念を押したことだけは、はっきりと覚えている。

▼ 大家族の中で

横尾の伯母の家は横尾神社から少し下った小川沿いにあり、家の脇を傍陽(そえひ)方面に向かう道筋が通っている(今は実家に人がいなくなり、廃家になってしまっているようだ)。伯父伯母に男3人、女5人兄弟の大家族。一番下の姉妹2人が私と一つ違いの上で、3つ上の従姉が何かと優しくしてくれた。母が帰り、初めての一人残された暮らしが始まったが、大家族の食事はまるで戦争状態で、年の近い二人の姉妹とはおかずの奪い合い。遠慮などしていられない。寂しいなんてふさぎ込む暇もなく、私にとってこれが幸이었다。

朝は当番で鶏小屋へ行き卵を取ってくる。昼間はヤギの草を採りに近くの野原に出かける。5歳でもちゃんと仕事が与えられ、休む間もない。春になると蚕の飼育が始まり、寝るのは蚕部屋。昼間に採ってきた繭を蚕たちがバシバシヤと音を立てる中で、昼間の疲れで難なく眠れてしまうから不思議だ。こんな暮らしの中で隣の同じ年頃の男子と仲良くなり、柿の木に登ったり、近くのお宮に行ったり遊んだりした。

秋、稲の刈り入れなどの作業が

済み、一家で出かけたのが千古の湯。重箱におつまり(おかず類)を一杯詰め、一番上の二人の従兄(まだ未成年だったはず)は伯父と酒瓶を抱えてうれしそう。大きな湯船で忘れられない思い出。もう一つ記憶に残るのは新年の信綱寺へのお参り。雪を踏みしめて山道を登っていくと、いきなり大きな門が現れ、幼いながら厳かな思いに打たれたのだ。そういえば、上の従兄が竹で手製のスキーを作ってくれ、近くの道で何度も転びながら遊んだことも思い出した。戦争の影は横尾の集落にまではあまり届いてこなかった。上田が爆撃されたときに、遠くから夜空が赤く燃えているのを見て「きれいだな」と不謹慎な気持ちになったこともあった。

▼ 東京大空襲を逃れて

どちらかと言えば平穏な疎開暮らしが続いていた昭和20年3月。伯父や伯母、それに年上の3人の従兄、従姉たちが暗い顔で何日か過ごしているのに気付いた。「東京で大空襲があったそうだ」「下町は全滅で、宮島のところもどうなったか分からない」。聞くともなしにそんな話が耳に入ってきた。でも母や2人の姉弟がいなくなっただけという実感がわかない。「このままこの家でみなと暮らすのかな」というぐらゐの軽い気持ち。一家で

そろって暮らした日々が少なかつたためだろうか。それとも生来の鈍感さによるものだろうか。そうして10日ほどたったある日、着の身着のままやつれた姿の3人が玄関に現れた。抱き合って喜ぶ母と伯母。18歳の姉、15歳の兄は茫然としたまま、私の顔をじっと見つめていた。この姿を私は忘れない。

これは母が昭和38年に亡くなった後に姉が話してくれたのだが、「お母さんはずっと前からいざの時に逃げる準備をしていたのよ。だから戦争の終わる1年前には衣装類や生活の必要なものを禰津(現東御市)の妹のところへ送っておいたり、逃げる場所を探して上野の山に決めていたのよ」という。東京大空襲では約10万人が戦火で亡くなっているが、母は2人の子を連れて空襲が始まるや一目散に厩橋を渡り上野の山に向かったという。実際に当時の大工場があった精工舎や隅田公園、錦糸町方面に逃げた民衆は多数が焼死したと伝えられている。

▼ 真田は我がふるさと

母たちは横尾の家に一晚泊まっただけで、母に実家、殿城村に向かった。2日ほど後になって、とりあえず暮らす家が決まったらしく、母が私を迎えに来た。本当はその頃には長村小学校に入る準備がで

きていたが、急きよ一つ置いた隣の豊殿小学校への入学が決まったという。私は幸い戦火の恐怖を直接受けずに済んだが、高女時代を工場への奉仕に明け暮れた姉と、中学3年で卒業式もできずに田舎へ逃げてきた多感な兄は本当に悲惨な青春だったに違いない。兄は高校にも行けず上田の工場に住み込み、姉は1年ほどで家出して東京で働き、田舎へ仕送りをしてくれるようになった。母と私は殿城の母の実家の近くにあった倉庫小屋を改造してもらい高校を出るまでそこで暮らしたのだった。

昨年の東京真田町の会総会の折、真田自治センターから来られた女性職員が横尾の住人で、いとこたちの消息を聞いたところ、一つ年下の従姉が一昨年の秋に嫁ぎ先で亡くなったと知った。その従姉とは数年前から電話でやり取りしていたのだが、しばらく消息が途絶え心配していたのだった。横尾の伯父伯母への恩、8人の従兄従姉たちの私への優しさを私は忘れたい。あの戦時の厳しい時期、1年半にわたって私を育ててくれた。私にとって真田町横尾は、私の幼年時代を輝かせてくれた「ふるさと」である。(了)

【原稿】依頼 2025年9月17日、入稿同年11月10日

洋書の出版について

会長 深町共榮

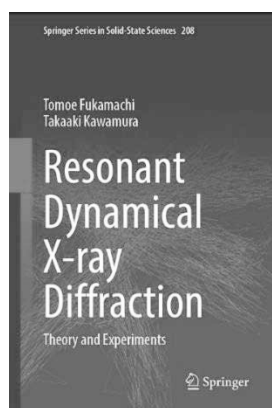
(田中出身・旧姓山岸)

人体内部を見るために、X線写真が便利です。X線は、レントゲンにより発見されたものの(1895年)、不透明な物体を透過する不思議なビームであったことからX線と呼ばれるようになりました。レントゲンの発見から17年後、X線は、結晶によって回折すること

が分かり、光と同様の電磁波で、しかも光の一万分の一程度と非常に短い波長であることが分かりました。X線は光と同様な性質がある一方、異なった側面もあります。物理学では、光を扱う分野を光学と呼び、X線領域ではX線光学と呼びます。結晶によるX線の回折強度測定から、光学顕微鏡では見られない微視的な原子の並びが求められ、新薬の開発等で活躍しております。今回、X線結晶光学における精密な理論を展開した専門書

(英文)を川村隆明氏と共著でシュプリンガー(Springer)社の固体物理学シリーズ208巻「Resonant Dynamical X-ray Diffraction」(共鳴動力学的X線回折)としてこの9月に出版しました。国内で英文専門書の出版を扱う出版社を探してみましたが適当な会社は見当たらず、その代わり日本に支社

があるシュプリンガー社が目につきました。早速連絡をとったところ、話がまとまり、出版にこぎつけられました。打ち合わせのほとんどは電子メールで行い、一時はビデオ会議もしましたが、Uターンした真田の山里に居ながら、脱稿・出版ができ、便利な時代になったことをつくづく実感できました。(シュプリンガー固体物理学シリーズ)となったため、このシリーズ契約している世界各地の図書館や研究所に納入されるため、幅広く流布されます。本の概要は、東京真田町の会HPのニュース欄にリンクがありますのでご覧願います。



〔原稿〕入稿2025年11月6日



鳥帽子への道脇に羽を休めるアサギマダラ

第三十八回定期総会 および懇親会の報告

1. 総会

信濃の国斉唱

(一、二番)

司会 理事 荻原啓治

1.1 開会のあいさつ

会長・事務局長 深町共榮

本日は、皆様には、ご多忙なところ、第38回東京真田町の会にご出席賜りました事に感謝申し上げます。また、上田市からは市長様、議長様及び議員の皆様、真田地域センターの皆様、また、JA信州うえだ農業組合長様及び理事の皆様には、遠方よりご足労いただき有難うございます。

昨年、自民党安倍派の裏金問題が発覚し、自民党がいかに政治資金を集めて権力を握るか、その実態が暴かれました。その結果、昨年の秋の衆議院議員の選挙において与党が大敗し、与党が過半数を割ってしまいました。今後の政治は、野党の意見も入り、悪しき習慣をすてた健全な政治が行われることを期待したいものです。

一方、アメリカの大統領選挙にて、大富豪に囲まれたトランプ大統領が当選しました。トランプ大統領は、自国第一主義を唱え、高額の関税をかけ、世界の金融に大混乱をまねいております。このため、この先世界経済は停滞する恐れがあります。

さて、私も東京真田町の会におきましては、高齢化による退会者が多く、現在、会員数は、60名程度に落ち込みました。その結果、一番の問題は、役員の確保です。今回の参加者は、昨年並みで、私は、ほっとしていますが、しかし、役員不足は深刻な問題です。

高齢化といいますが、しらかば通信でお知らせしましたが、当会初代会長の小林孝雄さんが、今年、お元気で百歳の紀寿を迎えられ、大変おめでたい事と存じます。本日、ご出席いただいている皆様、是非とも百歳をこえる長寿を迎えていただきたいものと存じます。

ご講演をさせていただく堀内道夫先生には、昨年、アンチエイジングのお話を伺いましたが、本日もまた長生きにつきお話を聞きできるものと期待しております。

私は、昨年の6月にCT検査を受けたところ、直腸癌が見つかり、8月に人口肛門の手術を受け、癌を取り除きました。手術前に、癌は、ステージ3bであると言われ、余命5年ほどを覚悟しました。しかし、手術を終わった後、ステージ1であるとされ、どうやら寿命は、

10年ほどは延びたようです。皆様、健康管理には十分注意され、お過ごし願いたいものと存じます。

本日の懇親会は、懇談の時間を十分とってありますので、真田の郷の思い出を語り合い、また、カラオケも用意してありますので、どの自慢をご披露願います。また、リンゴのくじ引きも用意しておきました。

本日、JA信州うえだ様からは、高額なお米と新茶、また真田地区自治センター様からは、リンゴジュースをいただきました。どうもありがとうございます。以上を持ちまして簡単ですが挨拶に代えさせていただきます。

1.2 来賓挨拶

上田市長 土屋陽一様

第38回総会おめでとうございます。会長をはじめ準備にあられた理事かたがたのご努力に御礼を申しあげます。本会の活動についてはしらかば通信で知っております。

昨年スイスダボス町を訪問した話のちほど出てまいります。

さらに、来年は上田市と諸町村との合併によって新生上田市20周年となります。これを機に上田城復元に向けて資料・古文書・城址の調査はもちろん、文化庁と相談

しつつ進める計画です。

令和10年には長野スポーツがありますのでテニスコートなどの整備事業を進めております。

今後のまちづくりとして、認知症になっても安心して暮らせる社会の実現を目指しております。

おわりに、ふるさと納税へのご協力をお願いするとともに、本会の発展を期待しております。

JA信州うえだ

組合長 眞島 実様

上田のJAを代表して総会開催のお慶びを申し上げます。

平成6(1994)年10月に管内の農協が合併してから30年たちます。

この間皆様のご支援のもと、順調な農業生産が達成されていきます。

いま、菅平ではレタスなどの定植がはじまっています。去年は高温障害のため、生育不良な場所もありましたが、農家の努力もあってどうやら乗り切りました。昨年は東京都大田区に菅平産のPRをしてきました。産地には若い営農家も増えつつあり、うれしい限りです。

お手元の資料9ページには女性部真田支会の杉山那奈さんがJAとして20年ぶりに「フレミズ作文コンクール」全国で最優秀賞受賞となりました(注)。杉山さんの夫君も全国で受賞した経歴の持ち主

です。

新装なったのち1周年、真田の直売所へもお立ち寄りください。

今日は皆様へコシヒカリと新茶を支持してまいります。国産・国産をモットーにJA上田はこれからもしっかりと根付いてまいります。

(注) JA全国女性組織協議会(久保町子会長)が主催する「第70回JA全国女性大会」は1月22日、23日、全国からJA女性組織メンバー約430名を集め東京都内で開催された。大会では令和6年度「フレミズ活動」わたしの「一歩」作文コンクールの表彰が行われた。

1.3 議事

会長・事務局長 深町共榮

資料に基づき次の四諸報告がなされた。

- 一 令和六年度会務報告
 - 二 令和七年度事業計画
 - 三 令和六年度決算報告
 - 四 令和七年度予算案
- これらは異議なく承認された。

2. 講演

演題

司会 深町 共榮
認知症について

静岡大学客員教授
| 血流の大切さ |

光と風の研究所長 堀内道夫様

私が皆様方にお話しした昨年の内容に準じて、今日は高齢者に纏わりつく認知症を中心にアンチエイジングを中心にお話しします。

今後、認知症軍とその予備軍は概80万人に達し、これらの人々は要介護団となります。すなわち、大人の五人に一人がこの症候群に見舞われるのですが、それも女性方に多くなります。

いま、認知症の予防対策に有効とされているのがジャワ生姜です。生姜そのものは江戸ごろから使われ、風邪のときや体を温めたいとき、さらに、体の抵抗力を高めて元気になるいときなどに有効です。ここに挙げているジャワ生姜はインドネシアのジャワ島一帯で生産されているショウガ属の一種で、高山に育つ二年草で食事にあわせても、サプリメント摂取でも有効です。

もうひとつ、がん治療ではマイクロウェーブでがん細胞を根治する温熱療法が効果大です。

健康を増進し長寿をまっとうするために、このような予防療法を皆様に実践していただきたいと考えております。

| 写真撮影 |

3. 懇親会

司会 荻原啓治

3.1 開会宣言

日本環境整備機構

大胡 真人様

本日、貴会に第38回総会を迎えられたこと、誠に改めてとうございませう。

会場の皆さま、御健勝ならびにふるさとの発展をねがって!!

乾杯

—しばらく間をおいて—

3.2 歓迎の挨拶

理事 一之瀬和夫

天候に恵まれこの総会を迎え誠にうれしい限りでございます。限られた時間ですが、ご来賓方々と会員皆様がこの1年ぶりの再会を祝っていただきたく、ご案内します。

さてホツとするニュースを紹介します。直近の朝日新聞によりまずと全国移住希望ランキングの一位に群馬があがっています。二に静岡、三に栃木と、四位には先の歌にあつた国とのことです。信濃は都会からの距離も適度で在宅勤務にも便利、とくにフォッサマグナに起因する沢と山の存在、河川の

恵みが農業への誘いとなつていてこと、昔からの「教育県」も強み。

日本海へは一本の鉄道で出ることが出来ますし、名古屋からも直近です。このような地理的恵みを享受されている皆様は幸せ、ともにこの大地の存在に嬉しく思います。

3.3 来賓紹介

司会 一之瀬和夫

ご来賓および出席者のご紹介をいたします。ご面倒でもお立ちいただきたくおねがいします。

上田市行政の皆様(三名)

上田市長

土屋 陽一様

(長瀬中央)

真田地域自治センター長

北沢 秀一様(横尾)

真田地域自治センター

地域政策担当

関谷 一樹様(大畑)

上田市市議会関係の皆様(五名)

市議会議長

池田総一郎様(上本郷)

市議会議員

古市 順子様(竹室)

佐藤 論征様(真田)

齊藤加代美様(海戸)

高田 忍 様(鳥屋)

市議会事務局局長

小山 秀永様(御嶽堂)

JA信州うえだ関係の皆様(三名)

組合長

眞島 実様(長和町)

真田地区理事

宮崎早苗様(横尾)

真田地区事業部部长

中澤元秀様(中原)

在京の他会

東京上田会会長

倉沢 裕様(別所温泉)

仙台真田家第14代当主

眞田 徹様

講師 静岡大学工学部客員教授

堀内 道夫様(静岡県)

特別参加 日本環境整備機構

大胡 真人様

(以上16名)

3.4 来賓祝辞

○ 上田市議会議長

池田総一郎様

みなさまこんにちは。佐藤論征氏に代わって昨年から池田が議長を務めております。

上田市議会の議員4名、議会議長および私の全6名が本日ここに

お邪魔しています。皆様のふるさと真田への熱い思いを去年と同じように、いま感じています。

さて、三年後に長野で開催されるスポーツ大会では、そのラグビーがアンダーアーマー菅平サニアパークで行われます(注)。これを

契機に若者のスポーツの町として上田真田町が全国に知れわたることを期待しております。

さて、来年はスイス国ダボス町の姉妹提携50周年になります。これを機に、交流が広くかつ深化することを期待しております。10

月からは深町会長からご提案のあったシテイクミニテイ事業を開始します。

今日はいつものようにおおいに楽しませて頂きます。

(注)平成11年5月に誕生した菅平高原スポーツランドは、その後、株式会社ドームとのネーミングライツ契約により、令和7年4月からその名称が「アンダーアーマー菅平サニアパーク」となった。

○ 真田地域自治センター長

北沢 秀一様

センター長の北沢でございます。つね日ごろ、皆様のふるさとへの関わりに心より厚く御礼を申し上げます。さなだの朝夕も少しずつ暖かくなつてきております。つぎ

の令和8年はダボス町との提携50周年です。そのスイスへ行つてまいりました。この永い交流に改めて時の経つ速さを感じます。このあと、彼の地への旅ビデオをご覧いただきます。

皆様から真田まつり花火へのご協力をいただいたこと、ここに厚く御礼を申しあげます。

お越しの時には「アンダーアー
マ―菅平サニアパーク」などもご
覧ください。

この真田も人口減少の真つただ
中にあります。皆様のたえざるご
支援をお願いします。ここに、リン
ゴジュースを持参しましたのでご
賞味ください。

3.5 親善訪問スイス国

ダボス町への旅

自治センター長 北沢秀一様
(ビデオ映写20分)

ときは2024年7月11日から15日、
エコノミークラスでの往時はチュ
ーリッヒ空港まで14時間の旅で
した。

ダボス町、夜の8時半はかなり
明るかったです。町通りでは日本
商品がチラホラと見受けられまし
た。物価は高く、生チューハイ一杯
3千円、たばこ一箱が二千円とい
う感じ。ここ菅平でしょう！あれ
は根子岳と四阿山ですよね？と似
た風景が印象的でした。近代的な
建物が多く、歓迎会では町長方が
ダボスを紹介して下さいました。隣に
「SANADA」と冠した会議室
がありました。

提携都市は上田市を含めて三つ、
二千人を収容できる会議室があり
ました。自然の豊かな美しい町と
の印象を受けました。

意見交換では、姉妹提携50周年
記念計画を語らいプレゼント交換
を行いました。このダボス町に住
む日本人は2人とのことでした。
三泊五日の旅でした。

3.6 閉会の挨拶

理事 坂口 英一

ご来賓および会員の皆様、この
雰囲気で大いに盛りあがっており
ますが、幕引きはそこに迫って
おります。

ご来賓のみなさま本日は早朝よ
りお越しいただきありがとうございます
でした。また会員の皆様久しぶ
りのご来場ありがとうございます
ました。お帰りの道中はくれぐれもお
気をつけください。(15時終了)。

☆ ☆

来賓を見送りのあと、会員のお
ゆしみでは、深町会長の提供に基
づいて「秋の収穫プレゼント券」の
抽選を行いました。

幸いの糸にかかった、三名の方
おめでとございます。秋まで首
をながしくしてお待ちください

☆ 総会への出席会員15名

(敬称略・順不同)

―長(10名)―

一之瀬 和夫 大日向

岩崎 みち子 菅平・正木

荻原 啓治 四日市

小林 栄子 菅平・川上

坂口 英一 真田

柴田 小夜子 菅平・市村

鈴木 邦子 横尾・鈴木

中島 正江 戸沢・関谷

宮島 光男 横尾

山口 元彦 横沢

―傍陽(5名)―

上ノ山勝信 三島平

小林 正子 下横道・堀内

深町 共榮 田中・山岸

堀内 寿美 上横道

八木 五郎 中横道

―同伴―

川上 今朝信 菅平

―アシスタント―
川崎 豊 埼玉県行田市

会員皆様の近況(注)

(敬称略・旧姓・出身区)

1 石巻哲夫(曲尾)

幹事のみなさんのご苦勞に頭が
さがります。大変ですがどうぞよ
ろしく願います。

2 一之瀬和夫(大日向)

これから人口の半減に突入しま
す。これに対処するには、一つ目に
県の垣根を越えて異なる分野や地

《広告欄》

ADVANCED MANAGEMENT AND
TECHNOLOGICAL INSTITUTE
日本環境整備機構 - AMATI
-SINCE 1998-

代表 大胡 真人

〒107-0052 港区赤坂 7-5-34 57号
TEL 03-3589-4140

株式会社 アップルサイエンス

代表取締役 川崎 豊



- プロジェクションマッピング
- ビデオ映像(会社案内など)
- ホームページ制作・メンテナンス
- CG制作

是非ご相談ください

〒381-0025 埼玉県行田市埼玉 5340-2
TEL 048-559-5300 <http://www.applescience.com>
Mail kawasaki@applescience.com

域の連携が大切になります。二つ目はふるさとでの農産物の加工法とこれらの連携や販売などについて知恵を寄せて海外観光客への宣伝に力を入れることが効果あると思います。地域の大学や高校に在籍する若者たちの活躍の場、たとえば YouTube などによる若い方からの発信はこのような新舞台の創造となります。まずは、懸賞つきで先十年のプロジェクトジョンモデルを募集するなども一案。

3 岩崎みち子(正木・菅平)

幹事の皆さんありがとうございます。今年は今から体調に気を付けて出席させていただきたく思います。

4 上ノ山勝信(堀内・三島平)

練馬石神支和会という老人会に入会し二年目、例会やゴルフ講演会等楽しんで居ります。幹事様方いつもご苦労さまです。今年も喜んで参加させていただきまますよろしく御願致します。

5 萩原啓治(四日市)

健康第一。毎日を楽しく過ごすことに努力しております。

6 川上年美(宮崎・菅平)

役員の皆様方いつもご苦労さまです。私又今年も出席できそうもありません。皆様に宜しくお伝えくださいませ。私は元気で毎日過ごしております。

7 小林栄子(川上・菅平)

おせはになりますますがよろしくお願致します。

8 小林重利

ご連絡が遅れて申し訳けありません。残念乍ら欠席させて頂きませす。

9 小林孝雄

高齢の為出席は困難ですが御申込の「感想文」は、承知いたしました。

しらかば通信拝受しました。「真田町の会」の運営に感謝します。歴史を見ると、今年で発足後37年になると思いますが、歴代の会長の皆様のご努力により続いたものと御礼を申しあげます。

10 小林正子(堀内・下横道)

お世話になります。久しぶりに皆様にお会い出来ることを楽しみにしております。

11 塩沢重男

引退させて頂き下さい(体調すぐれず)。

12 椎名巳津男(山口・横沢)

大変お世話様になりありがとうございます。今度も体調の都合で残念。欠席させて頂きまます。皆様方よろしくお願ひ申してください。

13 柴田小夜子(市村・菅平)

今年も又皆様にお会い出来ることを楽しみにしています。

14 杉崎壽三男(菅平)

日程の調整がつかず欠席となり

ます。本会の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

最近菅平に住む時間が多くなりました。やはり生まれた地は、この上なく快適です。

15 鈴木郁夫(横尾)

昨年(6月)心臓(不整脈)のカラーテール手術を(2回目)行いましたが、術後の体調が思わしくなく、現在は歩いて足が衰えないよう頑張っております。

16 鈴木邦子(横尾)

永年お世話になりましたが、今年度より退会させて頂きまます。ありがとうございます。

最後になりますので懇親会のみ参加させて頂き度くよろしくお願ひ申し上げます。

17 関弘吉(中組)

役員の皆様ご苦労さまです。楽しみにしています。

18 武田守央(真田)

東京真田町の会には従兄弟に会うのが楽しみで参加しております。が、昨年仏様になり私も高齢になり残念ながら退会させて頂きまます。長いあいだありがとうございます。今後本会の盛会を祈っております。

19 館野清實(堀内・田中)

お手紙ありがとうございます。今年で94歳になりました。真田会もやめます。今までありがとうございます。

《広告欄》

有限会社 千曲美装 一般社団法人 優良リフォーム支援協会会員

代表取締役 宮下 毅

〒386-0015 長野県上田市常入 1-7-104
Tel 0268-23-7896 Fax 0268-23-7813
e-mail t_miyashita@chikumabiso.co.jp



アパート、マンションから一般住宅までリフォーム・メンテナンスの全てをお引き受けいたします。お気軽にお声かけ願います。

20 塚田健次・加代子(宮崎・横尾)

40年前に息子が誕生したとき「節句の祝いに」と実家の父が「兜」を送ってくれた。長いこと飾ることもしなかったが昨年に誕生した孫を想い飾ってみた。写真を送ったところ、息子夫婦が受け継ぎたいと申し出てくれた。父の想いがひ孫へと繋がっていく事を願っています。

21 角田和美(清水・普平「つのだ」)

役員の皆様お世話になっております。今年も足の骨折のため遠出が出来なくなり欠席をさせていただきます。

22 中島正江(関谷・戸沢)

お手紙をありがとうございます。調があまり良くなく寝たり起きたりの一日ですので、当日はどうなるかわかりませんが一応、私を出席としておいて下さいませ。

23 中村洋子(田中)

膝の手術のため、欠席します。役員の皆様いつも有がとう御ざいます。

24 鳴沢 隆(傍陽)

最近では喜寿のお祝いをいただくようになり、リタイアモードになつています。都心に行くことも少なくなり、この機に当会からも退会させて頂きたく、お願い申し上げます。

気がかりなことは、傍陽小学校

の入学人数が2024年度は7名というところで、我々の110名から激減していることです。真田町でもとりわけ傍陽地区の活性化策はないのか。現役員のみなさんに検討をお願いしたいものです。

25 萩原清人(萩)

体調不良のため残念ながら欠席します。また今年度で退会します。有難うございました。

26 堀内 幸(下横道)

本年も残念ですが欠席させていただきます。本会の発展を祈っています。

27 堀内敏文(下横道)

ご連絡ありがとうございます。参加者が年々減少していることが気がかりです。所要のため欠席します。

親が残してくれた傍陽に家の管理をどうするか悩んでいます。ご盛会になることを祈願します。

28 堀内照美(上横道)

総会当日は所要のため残念ですが欠席させていただきます。会の盛況をお祈りしています。

昨年五月に久し振りに田舎へ行き、椎茸の菌が植った丸木(丸太)二本貰ってきて、庭の塀に立て掛けておきました。そして諦めかけていた所、今年4月中旬に初めて大小含め四つ収穫しました。

田舎の兄に聞いた所、秋にもまた出るかもしれない、とのことなので、楽しみにしています。東京で田舎を感じている今日このごろです。

29 堀内寿美(上横道)

いつもご連絡ありがとうございます。懇親会は田舎での仲間にお会いできるのが非常な楽しみです。田舎のお友達はいつまでたつてもいいですね。宜しく願います。

30 堀内寅次(中横道)

いつもお世話様です。小生94歳になります。足が弱って歩行が困難になりました。出席もできなくなりましたので次回から脱会したく思います。宜敷しくお願い致します。御盛会をお祈りいたします。

31 堀内 操(傍陽・竹室)

長い間お世話になりましたが、退会致します。

第2回の上野からの出席でしたが、いっしょに行っていた仲間も次々と退会してしまいました。楽しい時をありがとうございました。

32 牧内隆志(戸沢)

東京真田町の会の役員の皆さんご苦労さんです。足が弱くなり歩くことが不安な為、毎日ゆっくりですが50〜60分/日、ウォーキングしています。みなさん何時までもお元気でお過ごし下さい。

33 八木五郎(中横道)

総会・懇親会の連絡いただく度に同期を何人来るか？(発会時

我等の年代一番若かった)上野池之端文化センターでの発会式は着席はなく立席だった事鮮明に思い出す当時から38回。数多い先輩は引退、残る我等それなりの歳に。淋しいけど成り行きだろうか？湿る事云つてもらち開かねエー！

今現の近況に替えます。

現勤め(有料老人ホーム)四月より二年目になる。外の仕事ではないので雨風忍びぬ。行きも帰途も往復歩く事(約8km強)。A.M.2時起き、コーヒー一杯新聞見て(新聞は2:30届く)、4:30出、会社4:30前に入つて11:00まで立・中腰での作業。早出の人居なくていいように使われるも、年金だけでは山にも行けず好きな事も出来ない。小遣い稼ぎです。朝早いので就床は7〜8時。判読難で相すまんです。

34 柳沢郁政(戸沢)

地元のテニス大会出場とダブルリ総会は欠席します。テニスは週に二日やっております。最近はこの交流が中心です。健康的にも良く楽しんでいきます。

今年をもって退会させていただきます。役員皆さまには大変お世話になり、ありがとうございます。話になりました。

35 柳沢幸夫(赤井)

しらかば通信ありがとうございます。



「原稿」入稿 2025年8月15日

- 36 矢部千枝子(赤井) 日本ダボスとしらかば通信ともになつかしく読ませて頂いておりましたが、都合により今年度で退会させていただきます。
- 37 山口元彦(横沢) 皆様にお会いできるのを楽しみにしております。
- 38 山崎静次(横尾) 返信の葉書にて申し分けありませんが主人は大病をしまして今は外出も一人では出来なくなりました。申し分けございませんが真田町の会を退会させて頂きたく、よろしくお祈りいたします。皆様方の御健康をお祈りいたします。妻 泰子
- 39 若林幸一郎(大日向) 未だ足のしびれがあり近所の成形外科にリハビリ通院をしております。体調が万全でないことから欠席させていただきます。
(注)第38回総会の出欠返信の葉書にご記入いただいた近況を記載したものです。

令和6年度会務報告書

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

令和6年

- 5月13日 第1回理事会
 ・令和5年度の事業及び決算報告、令和6年度の実施要項及び予算の検討
 ・第37回東京真田町の会総会懇親会(5月19日開催)の実施内容の検討
 ・会費を1,500円から2,000円(令和7年度から)に変更を提案
- 5月19日 第37回総会・懇親会開催(アルカディア市ヶ谷6階霧島の間)
 ・出席者 来賓16名、会員14名
 ・令和5年度会務報告、令和5年度決算報告、令和6年度事業計画、令和6年度収支予算の承認
 ・年会費を令和7年度から2,000円に引き上げることの承認
 ・講演会「新しい医療、マイクロウェーブが癌を治す」
 講師 (静岡大学客員教授)堀内道夫氏
- 6月6日 第2回理事会 坂口(英)理事の事務所にて
 ・第40回真田まつりへ深町会長、坂口(英)理事が参加することとした
 ・第37回総会・懇親会の反省と日本ダボス37号の発行について話し合う。
 ・コロナ以前に行っていたふるさと訪問は、今年度も見送ることとした。
- 8月3日 第40回真田まつり～真田三代花火大会～、坂口(英)理事が出席
- 10月4日 信州うえだ東京の集い 坂口(英)理事が出席
- 11月8日 第3回理事会
 ・信州うえだ東京の集いと第40回真田まつりの報告
 ・日本ダボス37号の発行と第38回定期総会についての検討

令和7年

- 1月20日 日本ダボス37号の発行(3,656部印刷)
- 2月17日 第4回理事会
 ・しらかば通信No.32についての検討
 ・第38回定期総会・懇親会の検討
- 3月31日 しらかば通信No.32号の発行

令和6年度決算報告書

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

収入の部			支出の部		
科目	予算額/円	決算額/円	科目	予算額/円	決算額/円
年会費	120,000	94,500	総会懇親会費	450,000	328,786
上田市補助金	300,000	300,000	会報発行費	400,000	333,500
総会懇親会費	350,000	258,000	事業費	50,000	14,028
広告代	130,000	95,000	事業通信費	60,000	43,760
寄付金	10,000	55,500	印刷費	20,000	2,904
利息	0	16	会議費	20,000	4,880
その他	0	7,160	渉外費	40,000	40,000
当期収入	910,000	810,176	交通費	20,000	26,490
前期繰越金	163,003	163,003	雑費	10,000	16,900
収入合計	1,073,003	973,179	予備費	3,003	0
			合計	1,073,003	811,248
			返還額		19,882
			次年度繰越金		161,931
			支出合計	1,073,003	973,179

会計監査報告

上記の通り令和6年度収支決算を示します。

会計 坂口典和 ㊟

令和6年度収支決算報告書は適正かつ真実であるものと認めます。監事 荻原啓治 ㊟

令和7年3月31日

令和7年度 事業計画

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

- ① 第38回総会及び懇親会の開催 (令和7年5月18日)
- ② 会報「日本ダボス」第38号の発行
- ③ 会報「しらかば通信33号」の発行
- ④ ホームページの運営
- ⑤ 会員相互の親睦をはかるため、関東圏の四季めぐりなどの見学会
- ⑥ 上田市の交流促進のため、ふるさと訪問の企画、真田まつり及び上田市の各種行事に参加、または特産物宅配に協力

令和7年度予算案

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

収入の部		支出の部	
科目	/円	科目	/円
年会費	120,000	総会懇親会費	400,000
上田市補助金	300,000	会報発行費	400,000
総会懇親会費	350,000	事業費	50,000
広告代	110,000	通信費	60,000
寄付金	30,000	印刷費	20,000
利息	0	会議費	20,000
	0	渉外費	40,000
当期収入	910,000	交通費	20,000
前期繰越金	161,931	雑費	20,000
収入合計	1,071,931	予備費	22,049
		返還額	19,882
		支出合計	1,071,931

東京真田町の会役員名簿

令和7年12月1日現在

職名	氏名
会長 事務局長・会計	深町 共榮
副会長	柴田小夜子
理事	監事 荻原 啓治
	編集長 一之瀬和夫
	坂口 英一
顧問	小林 孝雄 山口 元彦
	中島 正江

移住相談 長野返り咲き

総務省まとめ 2年ぶり首位

総務省がまとめた2024年度の移住相談の受付件数で長野県が2年ぶりに首位に返り咲いた。都道府県や市町村が設置している移住相談の窓口やイベントで受け付けた相談件数を集計した。

■2024年度の移住相談件数で上位の都道府県 ※総務省まとめ。順位は前年度

順位	都道府県	相談件数
1(2)	長野県	2万5891
2(3)	福島県	2万505
3(1)	宮崎県	1万9245
4(5)	北海道	1万8813
5(4)	兵庫県	1万6745
6(6)	静岡県	1万4838
7(9)	高知県	1万4305
8(10)	山口県	1万4048
9(12)	長崎県	1万2475
10(8)	熊本県	1万2371

トップの長野県は2万5891件(前年度比5305件増)。2位は福

島県の2万505件(同1902件増)、3位は宮崎県の1万9245件

(同3303件減)だった。長野県は東京、名古屋、大阪にも窓口を置き、PRを強化中。長野県の相談件数は22年度まで8年連続全国1位で、23年度は宮崎県に抜かれて2位だったが、首位を取り戻した。

移住相談が多い理由について、長野県の担当者「東京、名古屋、大阪の三大都市圏からアクセスしやすいのが強み。都会から来やすいのに自然が豊かで、まずは2拠点で暮らしたいという方も多い」と話す。福島県は

「東京からのアクセスの良さと、県内も合せて相談窓口を12カ所に設け、相談をしやすいとしている」、宮崎県は「温暖な気候で暮らしやすいうえ、移住者に対する支援策を充実させているからではないか」と分析している。

総務省によると、24年度の全国の相談件数は43万3810件で、調査を始めた15年度以降で最多になった。各自治体が移住定住を促す取り組みを強化していることが要因という。

東京・有楽町で全国の自治体と連携して移住相談に対応する「ふるさと回帰支援センター」(現・ふるさと回帰・移住交流推進機構)の24年の移住希望地ランキングでは、1位群馬県、2位静岡県、3位栃木県だった。

機構への相談は7割以上が首都圏からで、担当者は「首都圏在住者を中心とした移住希望が反映されたデータ」と説明する。(小山裕一)

スイス連邦ダボス姉妹都市

提携50周年記念

― スイス特別企画給食 ―

令和8年度、上田市はスイス連邦ダボスとの姉妹都市提携50周年を迎えます。これを記念して真田地域の四小

学校と二中学校で「スイス特別企画給食」を提供しました。これは旧真田町との間において結ばれたダボスとの姉妹都市という財産を次世代に引き継ぎ、この先50年の交流事業を市民の皆さんに広く知っていただけるよう、事業の検討を進めています。今回、

食の体験を通じスイスダボスに関心をもってもらうこと、将来に渡ってダボスとの持続可能な関わりを目的として真田地域内の小中学生へスイス伝統食が提供されました。「写真」右上：準備にわく本原小学校の生徒さん、右下：配膳で賑わう教室。左：給食の姿(終)



はじめ
音楽スタジオ 肇

お問い合わせ(荻原)
090-8442-2317
keiji-1214-ogi@docomo.ne.jp
http://ameblo.jp/music-studio-hajime

中野区中野 2-12-12 勤業ビルB1F
JR中野南口より徒歩3分

お知らせ

一、会員消息(令和6年11月1日)

令和7年10月31日

(1) 住所変更

該当者はありません。

(2) 退会者

長年、本会の運営にご協力いただいた次の方々に、厚く御礼を申しあげます(敬称略)。

坂口典和、塩沢重男、鈴木邦子、武田守央、館野清實、鳴沢隆、萩原清人、堀内寅次、堀内操、柳沢郁政、矢部千枝子、山寄静次、山本香織。(13名)

(3) 入会者

該当者はありません。

二、第三十九回

定期総会の予告

開催日 令和8年5月17(日)

会場 私学会館アルカディ

ア市ヶ谷(五階大雪)

三、入会条件の緩和で家族や友人の参加が容易に

令和5(2023)年第36回総会において会則が改正され、ご家族及び友人方の入会が可能となりました。さなだ町出身でない方でもさなだや本会の活動に関心をお持ちなら入会できます。これにより、会の活動も柔らかく、話題も広がります。まずは、懇親会などへの参加に

お誘い下さい。

希望される方がおいでのときは、裏表紙に記載した会長あてにご連絡ください。

四、年会費が改訂されました

第37回総会において、令和7年度より年会費を二千円とすることが決まりました。

払込み方法については、2月頃に皆様へご案内するしらかば通信33号をご覧ください。この「令和8年度第39回定期総会開催通知」へ同封されている本会専用の「払込取扱票」を郵便局にてご使用下さい。同票で払込される場合には、手数料を本会が負担しています。ただし、現金で払込みをされる場合は、別途110円の手数料が必要になりますので、ご注意ください。

★ 令和7年度および過年度の会費が未納のとき

令和6年度あるいは過年度の会費(二千円/年)も未納の方には、しらかば通信33号に払込取扱票を同封しますので、それにより払込み下さるようお願いいたします。ご記入にあたっては「該当する年度と金額」を必ずご記入下さい。

五、広告御礼

ダボス38号の発行にあたり広告掲載をお願いしましたところ、団体、企業および個人の方がたより多大なご支援を賜りました。

ここに厚く御礼を申し上げます。

編集後記

会員の皆様いかがお過ごしでしょうか。ここにダボス38号をお届けします。本会からの寄稿依頼にご快諾下さった方々に厚く御礼を申し上げます。

ご高齢にもかかわらず、今号に筆をおとり下さった初代会長小林孝雄様には厚く感謝の意を表します。さらに、宮島光男様には遙かな思い出を行間に残していただきありがとうございます。いずれも深町会長の企画によるものです。

年内の発行を目指したのですが一箇月遅れとなって申しわけありません。理由の一番大きいのは編集と記事整理にあたる者が一名しかおられないことです。加えて、2025年10月のWindows v10のサポート終了に伴う混乱の時期に重なりました。いま、当方PCは更新せず1年延長の状態です。立ち上がりはドッコイショッ、ですので余裕を要します。急がせようものならイボツツテ：、再起動となります。話題の記事を二つ、ひとつは直近の総務省調査結果による「田舎への回帰ブーム」、あとひとつは真田の四小学校・二中学で行われた行事としてのダボス給食です(写真とは本原小学校に於て)。(一之瀬和夫記)

《広告欄》



代行 ゆきむら

長野県公安委員会認定第273号：代行保険完備

代表 飯島 嘉夫

TEL 090-1504-1196

〒386-2202 上田市真田町本原 2749

営業時間 20:00 ~ 3:00



リンゴの 大松農園

小玉のサンふじ・シナノスイートは、2月末まで発送いたします。

連絡先

〒386-2203 上田市真田町傍陽 3774-7

堀内 昭一

Tel.090-4017-3721 Fax.0268-75-3355

祝 第38回東京真田町の会☆総会・懇親会 -会報38号-



祝 第38回東京真田町の会☆総会・懇親会 - 会報 38号 -



くらしによろこび創りませんか
信州うえだ農業協同組合
代表理事組合長 眞島 実

〒386-8668 長野県上田市大手2丁目7番10号 TEL0268-25-7800 FAX0268-25-7820

日本ダボス 令和8(2026)年1月10日発行
発行者 東京真田町の会 会長 深町 共榮
発行者住所 〒366-2203 長野県上田市真田町傍陽 825-7, Tel & Fax 0268-75-3886
編集 一之瀬和夫(編集長)、深町共榮(会長、事務局長)
印刷 上田市住吉:精巧堂(株)アオヤギ印刷